



# ミーミー会議

- [ミーミー会議の概要 \(1 ページ\)](#)
- [ミーミー会議のタスク フロー \(1 ページ\)](#)
- [ミーミー会議の制限 \(8 ページ\)](#)

## ミーミー会議の概要

ユーザはミーミー会議を使用して、電話会議を設定するか、電話会議に参加できます。電話会議を設定するユーザは、会議コントローラと呼ばれます。電話会議に参加するユーザは、参加者と呼ばれます。

## ミーミー会議のタスク フロー

始める前に

- ルータに付属されていた構成ドキュメンテーションを参照し、ミーミー会議のタスク フローに進む前に、必要な設定を確認します。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	<a href="#">ミーミー会議のソフトキーテンプレートの設定 (2 ページ)</a>	ソフトキーテンプレートに[ミーミー (Meet-Me) ]ソフトキーを追加します。
ステップ 2	<a href="#">共通デバイス設定とソフトキーテンプレートの関連付け (3 ページ)</a> を行うには、次のサブタスクを実行します。 <ul style="list-style-type: none"><li>• <a href="#">共通デバイス設定へのソフトキーテンプレートの追加 (4 ページ)</a></li></ul>	オプションソフトキーテンプレートを電話で使用できるようにするには、この手順か次の手順のいずれかを実行する必要があります。

	コマンドまたはアクション	目的
	<ul style="list-style-type: none"> <li>電話機と共通デバイス設定の関連付け (4 ページ)</li> </ul>	
ステップ 3	Common Device Configuration 電話機とソフトキーテンプレートの関連付け (5 ページ)	オプション次の手順は、ソフトキーテンプレートと共通デバイス設定を関連付けるための代替手段として、または共通デバイス設定と共に使用します。ソフトキーテンプレートを適用して、共通デバイス設定での割り当てや、他のデフォルトのソフトキーの割り当てを上書きする必要がある場合は、次の手順を共通デバイス設定と共に使用します。
ステップ 4	ミーティング会議番号の設定 (5 ページ)	高度な会議を有効にし、参加者の最大数を指定して、会議の接続を切断する時期を指定します。

## ミーティング会議のソフトキーテンプレートの設定

オフフック発信状態でミーティングソフトキーを使用可能にするには、次の手順を使用します。

### 手順

- ステップ 1** [Cisco Unified CM Administration] から、以下を選択します。[デバイス (Device)] > [デバイスの設定 (Device Settings)] > [ソフトキーテンプレート (Softkey Template)]。
- ステップ 2** 新しいソフトキーテンプレートを作成するには、以下の手順を実行します。それ以外の場合は次のステップに進みます。
- [新規追加 (Add New)] をクリックします。
  - デフォルトのテンプレートを選択して、[コピー (Copy)] をクリックします。
  - [ソフトキーテンプレート名 (Softkey Template Name)] フィールドに、テンプレートの新しい名前を入力します。
  - [保存 (Save)] をクリックします。
- ステップ 3** 既存のテンプレートにソフトキーを追加するには、以下の手順を実行します。
- [検索 (Find)] をクリックし、検索条件を入力します。
  - 必要な既存のテンプレートを選択します。
- ステップ 4** [デフォルトソフトキーテンプレート (Default Softkey Template)] チェックボックスをオンにし、このソフトキーテンプレートをデフォルトのソフトキーテンプレートとして指定します。
- (注) あるソフトキーテンプレートをデフォルトのソフトキーテンプレートとして指定した場合、先にデフォルトの指定を解除してからでないと、そのテンプレートは削除することができません。

- ステップ5** 右上隅にある [関連リンク (Related Links)] ドロップダウン リストから [ソフトキー レイアウトの設定 (Configure Softkey Layout)] を選択し、[移動 (Go)] をクリックします。
- ステップ6** [設定するコール状態の選択 (Select a Call State to Configure)] ドロップダウン リストから、ソフトキーに表示するコール状態を選択します。
- ステップ7** [選択されていないソフトキー (Unselected Softkeys)] リストから追加するソフトキーを選択し、右矢印をクリックして [選択されたソフトキー (Selected Softkeys)] リストにそのソフトキーを移動します。新しいソフトキーの位置を変更するには、上矢印と下矢印を使用します。
- ステップ8** 追加のコールステータスのソフトキーを表示するには、上記のステップを繰り返します。
- ステップ9** [保存 (Save)] をクリックします。
- ステップ10** 次のいずれかの作業を実行します。

- すでにデバイスに関連付けられているテンプレートを変更した場合は、[設定の適用 (Apply Config)] をクリックしてデバイスを再起動します。
- 新しいソフトキーテンプレートを作成した場合は、そのテンプレートをデバイスに関連付けた後にデバイスを再起動します。詳細については、「共通デバイス設定へのソフトキーテンプレートの追加」および「電話機とソフトキーテンプレートの関連付け」の項を参照してください。

## 共通デバイス設定とソフトキーテンプレートの関連付け

オプションソフトキーテンプレートを電話機に関連付ける方法は2つあります。

- ソフトキーテンプレートを [電話の設定 (Phone Configuration)] に追加する。
- ソフトキーテンプレートを **共通デバイス設定** に追加する。

ここに示す手順では、ソフトキーテンプレートを **共通デバイス設定** に関連付ける方法について説明します。システムが **共通デバイス設定** を使用して設定オプションを電話機に適用する場合は、この手順に従ってください。これは、電話機でソフトキーテンプレートを使用できるようにする際に、最も一般的に使用されている方法です。

別の方法を使用するには、[電話機とソフトキーテンプレートの関連付け \(5 ページ\)](#) を参照してください。

始める前に

[ミートミー会議のソフトキーテンプレートの設定 \(2 ページ\)](#)

手順

	コマンドまたはアクション	目的
<b>ステップ1</b>	<a href="#">共通デバイス設定へのソフトキーテンプレートの追加 (4 ページ)</a>	

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 2	電話機と共通デバイス設定の関連付け (4 ページ)	

## 共通デバイス設定へのソフトキーテンプレートの追加

### 手順

- 
- ステップ 1** [Cisco Unified CM Administration] から、以下を選択します。[デバイス (Device)] > [デバイスの設定 (Device Settings)] > [共通デバイス設定 (Common Device Configuration)]。
- ステップ 2** 新しい共通デバイス設定を作成し、それにソフトキーテンプレートを関連付けるには、以下の手順を実行します。それ以外の場合は、次のステップに進みます。
- [Add New] をクリックします。
  - [名前 (Name)] フィールドに、共通デバイス設定の名前を入力します。
  - [保存 (Save)] をクリックします。
- ステップ 3** 既存の共通デバイス設定にソフトキーテンプレートを追加するには、以下の手順を実行します。
- [検索 (Find)] をクリックし、検索条件を入力します。
  - 既存の共通デバイス設定をクリックします。
- ステップ 4** [ソフトキーテンプレート (Softkey Template)] ドロップダウンリストで、使用可能にするソフトキーが含まれているソフトキーテンプレートを選択します。
- ステップ 5** [保存 (Save)] をクリックします。
- ステップ 6** 次のいずれかの作業を実行します。
- すでにデバイスに関連付けられている共通デバイス設定を変更した場合は、[設定の適用 (Apply Config)] をクリックしてデバイスを再起動します。
  - 新しい共通デバイス設定を作成してその設定をデバイスに関連付けた後に、デバイスを再起動します。
- 

## 電話機と共通デバイス設定の関連付け

### 始める前に

[共通デバイス設定へのソフトキーテンプレートの追加 \(4 ページ\)](#)

### 手順

- 
- ステップ 1** [Cisco Unified CM Administration] から、以下を選択します。[デバイス (Device)] > [電話 (Phone)]。

- ステップ2 [検索 (Find)] をクリックして電話デバイスを選択し、ソフトキー テンプレートを追加します。
- ステップ3 [共通デバイス設定 (Common Device Configuration)] ドロップダウンリストから、新しいソフトキー テンプレートが含まれている共通デバイス設定を選択します。
- ステップ4 [保存 (Save)] をクリックします。
- ステップ5 [リセット (Reset)] をクリックして、電話機の設定を更新します。

## 電話機とソフトキー テンプレートの関連付け

オプションこの手順を代替手順として、ソフトキーテンプレートを共有デバイス設定と関連付けることができます。この手順は、共有デバイス設定と併用することもできます。共有デバイス設定または他のデフォルトのソフトキー割り当てをオーバーライドするソフトキー テンプレートを割り当てる際に、これを使用することができます。

始める前に

[ミーティング会議のソフトキー テンプレートの設定 \(2 ページ\)](#)

手順

- ステップ1 [Cisco Unified CM Administration] から、以下を選択します。[デバイス (Device)] > [電話 (Phone)]。
- ステップ2 [検索 (Find)] をクリックして電話デバイスを選択し、ソフトキー テンプレートを追加します。
- ステップ3 [ソフトキーテンプレート (Softkey Template)] ドロップダウンリストから、新しいソフトキーが含まれているテンプレートを選択します。
- ステップ4 [保存 (Save)] をクリックします。
- ステップ5 [リセット (Reset)] を押して、電話機の設定を更新します。

## ミーティング会議番号の設定

Cisco Unified Communications Manager の管理者は、ミーティング会議の電話番号の範囲をユーザに提供します。これにより、ユーザがその機能にアクセスできるようになります。ユーザは、ミーティング番号またはパターンに指定された範囲から電話番号を選択して、ミーティング会議を確立し、会議コントローラになります。

## 手順

- ステップ 1** [Cisco Unified CM Administration] から、以下を選択します。 [コール ルーティング (Call Routing) ] > [Meet-Me 番号/パターン (Meet-Me Number/Pattern) ]。  
[ミーティング番号の検索/一覧表示 (Find and List Meet-Me Numbers) ] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2** 適切な検索条件を入力し、[検索 (Find) ] をクリックします。  
一致するすべてのレコードが表示されます。
- ステップ 3** レコードのリストで、表示するレコードへのリンクをクリックします。
- ステップ 4** 次のいずれかのタスクを実行します。
- ミーティング番号またはパターンをコピーするには、コピーするミーティング番号またはパターンをクリックします。 [ミーティング番号/パターンの設定 (Meet-Me Number/Pattern Configuration) ] ウィンドウが表示されます。 [コピー (Copy) ] をクリックします。
  - ミーティング番号/パターンを追加するには、[新規追加 (AddNew) ] ボタンをクリックします。
  - 既存のミーティング番号/パターンを更新するには、更新するミーティング番号またはパターンをクリックします。
- ステップ 5** 適切な設定値を入力します。  
フィールドとその設定オプションの詳細については、「関連項目」の項を参照してください。
- ステップ 6** [保存 (Save)] をクリックします。

## ミーティング番号およびパターンの設定

フィールド	説明
電話番号またはパターン	ミーティング番号または番号の範囲を入力します。 範囲を設定するには、角カッコ内でダッシュを使用し、その後ろに数値を入力します。たとえば、範囲 1000 ~ 1050 を設定するには、10[0-5]0 と入力します。
説明	説明には、任意の言語で最大 50 文字を指定できますが、二重引用符 (")、パーセント記号 (%)、アンパサンド (&)、山カッコ (<>) は使用できません。

フィールド	説明
パーティション	<p>パーティションを使用してミーティング番号/パターンへのアクセスを制限するには、ドロップダウン リスト ボックスから必要なパーティションを選択します。</p> <p>ミーティング番号またはパターンへのアクセスを制限しない場合、パーティションに対して [なし] (&lt;None&gt;) ] を選択します。</p> <p>[最大リスト ボックス項目 (Max List Box Items) ] エンタープライズ パラメータを使用して、このドロップダウン リスト ボックスに表示されるパーティションの番号を設定できます。[最大リスト ボックス項目 (Max List Box Items) ] エンタープライズ パラメータで指定された数を超えるパーティションがある場合、ドロップダウン リスト ボックスの隣に [検索 (Find) ] ボタンが表示されます。[検索 (Find) ] ボタンをクリックすると、[パーティションの検索と一覧表示 (Find and List Partitions) ] ウィンドウが表示されます。</p> <p>(注) リスト ボックスの最大項目数を設定するには、[システム (System) ] &gt; [エンタープライズ パラメータ (Enterprise Parameters) ] を選択し、[CCMAdmin パラメータ (CCMAdmin Parameters) ] の下の [リスト ボックスの最大項目数 (Max List Box Items) ] フィールドを更新します。</p> <p>(注) Meet-Me 番号またはパターンとパーティションの組み合わせが、Unified Communications Manager クラスタ内で固有であることを確認してください。</p>
最小セキュリティレベル	<p>ドロップダウン リスト ボックスから、このミーティング番号/パターンに対する最小のミーティングセキュリティ レベルを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 非セキュアな電話機を使用している参加者が会議に参加することをブロックするには、[認証のみ (Authenticated) ] を選択します。</li> <li>• 認証された電話機または非セキュアな電話機を使用している参加者が会議に参加することをブロックするには、[暗号化 (Encrypted) ] を選択します。</li> <li>• すべての参加者に会議への参加を許可するには、[非セキュア (Non Secure) ] を選択します。</li> </ul> <p>(注) この機能を使用するには、セキュアな会議ブリッジが設定され、使用可能であることを確認します。</p>

## ミーミー会議の制限

Unified Communications Manager各 Unified Communications Manager サーバに対しては、最大 100 同時 Meet-Me 会議がサポートされています。

その電話会議に指定された参加者の最大数を超過すると、他の発信者は電話会議に参加できません。